

令和4年度 ビジネスカフェ in 文化産業交流会館
(第15回文化ビジネス塾)

パネルディスカッション

國賀由美子氏 (大谷大学教授)
福井智英氏 (長浜城歴史博物館館長)
八杉淳氏 (草津宿街道交流館館長・草津宿本陣館長)
草野丈太氏 (奥伊吹観光株式会社代表取締役)

司会 高梨 純次 氏
(公財)秀明文化財団理事
文化・経済フォーラム滋賀幹事

主催 滋賀県立文化産業交流会館
文化・経済フォーラム滋賀

共催 公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

2022年11月6日(日) 14:00-16:15

滋賀県立文化産業交流会館 小劇場

参加無料/申込期限 11月3日(木・祝)

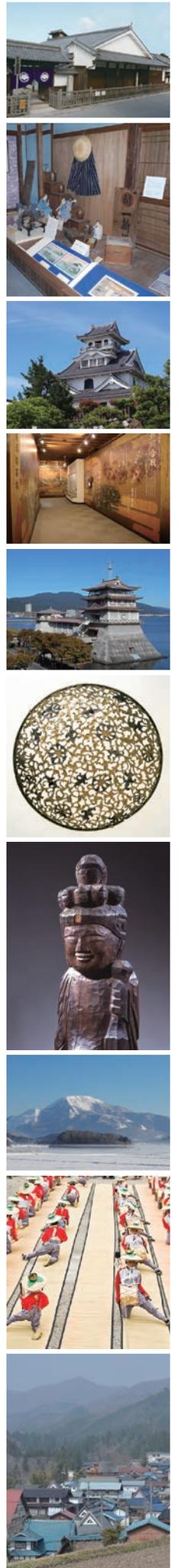
定員100名



べしみ
癒見面(能面) / 米原市甲津原

博物館と地域社会の
関わりを見直す

地域の文化は誰が受け継ぐか



令和4年度ビジネスカフェ in 文化産業交流会館
(第15回文化ビジネス塾)



土地の歴史や伝統、文化は誰が受け継ぐかをテーマに、文化財の活用による観光振興など新しい局面を迎えている地域の博物館のあり方を通して、関係者や参加者と意見を交わします。

重要な歴史の舞台となり、貴重な文化財を多く伝える滋賀には、多様な目的を持った博物館が県内各地に設置されています。人口減少が進み、歴史や伝統、文化の存続や継承に課題を抱える地域が増えるなか、博物館は地域社会や経済と今後どのように関わっていくべきか、展望を考えます。

事例発表

演題

「学芸員は大忙し！でも大切なことってなあに？」



國賀 由美子 KUNIGA Yumiko
大谷大学文学部教授

大阪府吹田市生まれ。同志社大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。滋賀県立近代美術館学芸員、主任学芸員を経て専門学芸員にて退職。主な近年の著書(いずれも共著)に『博物館と文化財の危機』(人文書院、2020年)、『Kyoto's Renaissance Ancient Capital for Modern Japan』(Renaissance books, London, 2020)、『近江の画人』(サンライズ出版、2020年)。前大谷大学博物館館長

演題

「長浜市における地域博物館・資料館の現状と課題について」



福井 智英 FUKUI Chie
長浜城歴史博物館館長

奈良県桜井市生まれ。天理大学文学部卒業後、虎姫町教育委員会を経て、2010年から長浜城歴史博物館の学芸員として勤務。2021年、館長職に就き、現在に至る。博物館では、企画展「相応と良源 湖北の天台文化」(2017年)、企画展「明治150年 長浜の近代化」(2018年)、企画展「姉川合戦450周年記念 信長苦戦す！元龜争乱と湖北」(2020年)などを担当。ライフワークは長浜出身の天台僧・元三大師の研究。

*申込フォームまたはFAXでお申し込みください。

ビジネスカフェ in 文化産業交流会館(第15回文化ビジネス塾)
参加申込書《FAX 0749-52-5119》申込期限 11月3日



申込フォーム

お名前

住所 市・町

電話番号 FAX

電子メール

注) 表面画像(上から順に)

草津市史跡草津宿本陣 / 草津市草津宿街道交流館(内観) / 長浜城歴史博物館 / 長浜城歴史博物館(内観) / 滋賀県立琵琶湖文化館 / 国宝 金銀鏡透彫華籠(長浜市・神照寺) / 円空作十一面観音立像(米原市春照) / 伊吹山 / 伊吹山奉納太鼓踊り(米原市上野) / 東草野の山村景観(米原市甲津原)

コーディネート・進行

高梨 純次 TAKANASHI Junji

公益財団法人秀明文化財団理事
文化・経済フォーラム滋賀幹事



京都府京都市生まれ。同志社大学大学院文学研究科博士前期課程修了。滋賀県立琵琶湖文化館学芸員を経て、1982年滋賀県教育委員会事務局県立美術館開設準備室に勤務し、滋賀県立近代美術館学芸課長となる。著書に、写真・寿福滋『近江の祈りと美』(サンライズ出版、2010年)、『近江の古像』(思文閣出版、2014年)。

演題

「地域における歴史文化の継承と課題」



八杉 淳 YASUGI Jun
草津宿街道交流館館長・草津市史跡草津宿本陣館長

専門は日本近世交通史。実際に街道を歩き、宿場をたずねて、江戸時代の街道や旅の実践研究をしている。主な著書に、『宿場春秋』(共著・2000・角川選書)、『近江の宿場町』(2009・サンライズ出版)、『近江東海道を歩く』(2010・サンライズ出版)、『古地図で楽しむ近江』(2017・風媒社・共著)。

演題

「地域資源の活用と住み続けられるまちづくり」



草野 丈太 KUSANO Jota
奥伊吹観光株式会社代表取締役

1980年米原市甲津原生まれ。2006年に家業である奥伊吹観光に入社し2013年10月から現職。『2070年地域の子もたちにスキーを』を理念に掲げ、自身が生まれ育った山間集落の地域活性に注力すると共に持続可能な観光業を目指している。またスキー場内に水力発電所を建設し、国内の観光施設では初となる電力の自給化を実現するなど、環境負荷低減にも積極的に取り組んでいる。

滋賀県立文化産業交流会館

〒521-0016 米原市下多良二丁目137

TEL 0749-52-5111 (月曜休館)

JR米原駅西口より徒歩7分

駐車場あり(無料)

<https://www.s-bunsan.jp/>

